



月刊えるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。

これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ 「エフコープ生活協同組合」さん

エフコープは福岡県内で54万人の組合員が加入する生活協同組合（生協）です。

生協とは「より良い暮らしとより良い社会を実現していくための組合員による協同組織」です。組合の事業とCSR活動についてお聞きしました。

～エフコープの事業～

事業としては、安全で安心な食品や衣料や雑貨などの日用品。「もしも！」の時の保障する共済や保険。介護サービスや子育て支援、お葬式の手配。さらには、新築・リフォームをはじめとした住まいのサポートなど、暮らしを支えるさまざまな商品やサービスを提供しています。それに加え、生活協同組合の主役・生活者である「組合員」が主体となって学び、活動などを行う組合員活動も運営の柱となっています。事前にご注文いただいた商品を、トラックにてお届けする共同購入の事業所が福岡県内に16支所あり、その中の一つが大牟田市にあります。

～社会貢献活動についての理念～

「ともに生き、ともにつくる、暮らしと地域」を基本理念としています。2019年度に策定した「2030年ビジョン」では、持続可能なより良い暮らしと社会の実現に向けて、私たちが果たすべき役割や目標を掲げています。その中では、持続可能な消費（食育やエシカル消費推進など）や高齢者の豊かなくらしづくり、食品廃棄物の削減や平和に関する学習や活動の推進などをあげています。

詳細は

「エフコープ2030年ビジョン」でご覧いただけます。



～大牟田市でのCSR活動について～

「平和の大切さ命の尊さ」を親と子を含めて一緒に考えていただくために、夏休みに「イオンモール大牟田」様のご協力のもと平和展を開催しています。例年開催していますが、去年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。今年も引き続きコロナ禍の影響がありましたが、令和3年8月8日（日）に「平和パネル展」として開催しました。また、去年は「令和2年7月豪雨災害」でのボランティアや農地復旧支援活動、義援金贈呈を行いました。今年は「令和2年7月豪雨」の際に、コープこうべ様とJAふくしま未来様から寄贈いただいたタオルを、久留米・筑後・大牟田の各支所で共同購入商品の配達時に、「福岡県消費生活センター」作成の豪雨災害に便乗した悪質商法に注意の啓発チラシを同封しお届けさせていただきました。



問合せ：エフコープ生活協同組合 組合員サービスセンター

TEL：0120-41-0120（月～金曜）9：00～20：45（土曜）9：00～17：45